



發行所 磐城日日新聞社 小名浜町港五丁目 電話 31355

自由労組に合同の氣運

濱地區自由労組發展的解散か

小名浜町には小名浜自由労組と濱地區自由労組、前者は長瀬大三氏を組合長として政治的にも思想的にも背景を保持しない純然たる組合として生長することを指導方針としていた。後者は発足の當初社會黨小名浜支部長小野幸次郎氏等が幹事の労をとつた關係から同氏が指導的立場にあり、政治的色彩があるが如き風聞もあつたが小野氏等最高幹部の大乗的見地に基き發展的に解散し、小名浜自由労組と合同するような氣運が次第に濃厚となつて來たので近日中に具體化するものと見られて、兩組合が合同して

アメリカ衣料配給の供出

國際的に結ぶ小名浜協組

會田亮先生を會長とする小名浜生活協同組合は、先般協同組合運動の先驅者として活躍するが、本日は協同組合の好評されてあり見本は各配給所において配給方法も全所説明するとのことであるが、品物が少い關係上、配給の對象は會員に限られて、間に行うことになつた。なお今回供出されたものは女子用スカート、上衣(主として冬物)、男子用ズボン、作業衣等であるが、本品は福高其他の生活協同組合で好評されてあり見本は各配給所において配給方法も全所説明するとのことであるが、品物が少い關係上、配給の對象は會員に限られて、間に行うことになつた。

健全な漁民組合の結成は

漁業振興の要素である!!

日本社會黨福島縣連漁民對策部長 小野 幸次郎

我が日本社會黨は勤勞大衆諸君の生活を最も強く守らねばならぬ重大段階にあることを自覺する、經濟的破局の波が八度線の均衡が破れた朝鮮動亂の如き勢をもつて吾々勤勞大衆の生活の上に押し寄せつゝあるとき最も因習の絆に束縛された封

學童貯金の獎勵

小名浜町信用組合 専務理事 福尾伊太郎

現在の世相から見ると、私生活に一番便利で大切なものは金である。従つて金は金である。よつては金も金である。罪惡の源ともなるので、即ち國を強くするにも、學校を良くするにも、又皆さんが上級學校に進むにも金があれれば先づ達成出来ませう。だが「恒産なきものは恒心なし」と申しまして、特に今の世の中では、念にしなければなりません。御承知の通り、日本は敗戦によつて全く底生活に陥つたのです。國民全体はその日の生活をヤツト維持するやうな有様で今思ひ出しつつも、國では色々更なる途を講じ、生産擴充、産業復興などを目標として改善、向上を圖つた結果は漸く最近では何とか立ち直つて生活も稍々榮になり、外國の信用もボツ／＼取り戻して來ましたが、未だ／＼之れからがむしろ大事な時でありま

密造部落に曉の急しう

ヤミ酒、蒸溜機等一齊押収

かねてより小名浜町内二名、税務署員十一名に於てドブコ、焼酎分乘曉の急襲を敢行し、知した小名浜警察署では十三日午前五時二十分署長鈴木龍之助氏を總指揮官として渡邊刑事部長指揮のもとに署員二十二名、應援のため松ノ中苞山某方に至り、松ノ中苞山某方に至り、焼酎七升、沙入、皆川

第一校PTA 授業を參觀

九月十三日午前九時より小名浜町第一小學校に於て第二期最初の父兄授業參觀を實施し、四百名の父兄が授業を自由參觀の後、高木校長より教育方針に就き挨拶ありナトコ映画を観覽して教育に對する關心を深め正午解散した



大勝丸 三代 義勝 小屋の内 電話九一番	壽和丸 野崎 貞行 古湊 電話五五番	開運丸 比佐 政種 元分 電話三三五番	共徳丸 伊藤 房儀 渚 電話三二二番	共榮丸 立花 勇 中坪 電話一〇二番	大濱丸 鈴木 七郎 中島 電話三番	天榮丸 草野 増太郎 舟引場 電話二四四番	寶丸 高橋 友吉 舟引場 電話一六九番
-------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------------	------------------------

雨量の測定と速報を研究

常磐炭礦が科学的調査

常磐炭礦の職員十数名は去る八日小名浜測候所を視察の傍ら雨量の測定法について指導を受けたが、更に天気予報及び警報等の連絡打合せもした。同礦にはかねてより、自動雨量計を設備して、雨量の測定をしてきたが、測

候所の調査と一致しないので、これが、根本原因を探究して、規正する筈であるが、元來、降雨量と坑山とは重要な関係があり、豪雨のたぬ地下水浸水を来し出炭不能となる場合もあ

り、今回の連絡も、雨量計の測定を三〇ミリの場

相互扶助の精神を強調

小名浜自由労組の方針

十一日午前十時半頃、處は第一小学校の一隅で、平職安定期所より、役員來着を待つ小名浜町失業保険の受給者約百五十名が退屈して、小名浜自由労組の役員、就労方面の獲得に努力して来たが、町当局の見解は小名浜町の活動状況、失業者の實態、町当局の失業者の對する救済對策、縣並に職業安定所の動向について座談的に話し、如何にすれば愛される組合になるか、或は相互扶助、失業者の登録の必要を一時半にわ

より簡易失業救済の事業を獲得することが出来る。これは失業者の實情を知るは求職願(登録)が基礎となる。あり、働かぬ食えない状況にある人々、は、登録して貰いたい。然し現在の獲得した仕事の就労は一日二十名の僅少な数に限定されているため、實際に現在困る人々から働かせるという相互扶助の精神で協力方を望む。より仕方がない、近郷町村の如き組合活動でなし、どこまでも愛される組合として育て

文藝遍歴

猩々寺 斌

その後、小林氏等によつて同人誌が生まれ相續いたと聞いている。が僕にはつきりしない。そして空白の十年を開いて、戦後の文藝活動を再開したのであるが、これは言うまでもなく、先刻御承知の事である。但し断つておきたいのは、終戦後の文藝活動

は、平でなく實に小名浜に起つたという事である。もし之が言ひ過ぎならば、少くも文藝雑誌は『みちしほ』、『いさり火』『点景』にしろすべて小名浜から出ているのであつて、特別『点景』の如きは活版印刷で十三号までつづいたものであり、現在

内郷の事業計画

内郷町では本年度計画として水道工事、内郷高校(予算三百萬圓)及び中學校(千六百萬圓)の建築完成を目ざして着々工事を進行して

第一中に交付金

かねて申請中であつた第一中學校四教室増築にともなう文部省所管六三制整備工事費國庫補助金は建築費四十五

オール小名浜辛勝OB軍も堂々闘う

濱通りを制覇して若松市に開催される縣総合体育大會へ出場するわがオール小名浜を送る壮行試合はかつての潮

者小名浜OB俱樂部との間に於いて十二日午後四時より中學校校庭に於いて左記メンバーにより開始された

台風危機を脱す

熱帯性低氣壓に變る

が北太平洋に高氣壓が張りついているので、南風が吹き、海上にはお警戒を要するが、連続線のない限り陸上は心配するほどでもない

新國道工事進む

久の浜・四倉間交通飛躍

久の浜、四ツ倉間の國道は急坂のため木炭車などは運行困難で、トンネルは八十萬圓、高き五、五、五、幅七五米で、仲々難工事であるため、一刻も早く完成するよう連日敢闘して、大體本工事が竣工するのは明年一、四月より工事を進行している、高橋所長の見込である

石油配給 石城郡統制會議

油配給統制會議は縣石油配給統制會議に出席して、十二日朝十時より小名浜町郵便局跡に開催したが、來會者は郡下の主なる漁業家四十名程で、今後の石油は米國からの援助を受けて、ため益々統制を強化して行方方針である

赤痢発生 衛生部状況調査

赤痢の發生状況調査のため十三日夕來小した

記者募集

年令、學歷を問わず、文章に興味と自信ある方、委細面談、履歴書、携帶來社されたし

住宅向分譲地あり

バス停車場に近し、希望者は來社有りました

貸店舗を求む

警察署より東、本町通、中島通、横町通、條件は面談の上決定、急を要す

姓名在社

12日—15日迄 4日間・磐城座特選番組堂々上映

母立つ銃の前

大映超特作品

三益愛子が三度放つ母もの、たりの比類なき母情篇

狙つたその人が、母であるとは！

この子はなぜ母を射つたのか？ 暗黒の波止場に火と燃える母の愛に泣け、わが子の銃弾を浴びる母の世に母と呼ばれるもの、又母となる日本の全女性と共に男性もみのがしの出来得ぬ日本映画最高の決定版



製作 中代富士男
原作 川口松太郎
脚本 館岡謙之助
監督 小石栄一
撮影 姫田真佐久

★キャスト

三益愛子
植村謙二郎
春日俊次
見明凡太郎
岡田英次

貸店舗を求む

警察署より東、本町通、中島通、横町通、条件は面談の上決定、急を要す

姓名在社